

様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地番)	別紙参照	地目	別紙参照	面積	16,976.78m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中・ 工事後	土工	②、⑦	掘削、盛土した土が雨天時に流出するおそれがある。		切盛土を極力減らすように設計し仮置土については、流出するおそれが少ない場所にて管理する。 又、工事後は定期的に巡視を行い土砂の流出防止に努める。		
工事中・ 工事後	伐採工	⑦、⑧	伐採により豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。		伐採量が極力減るような道路位置を設定し、道路幅員も最低限とする。		

（注）1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。